

株式公開買付による RC2 Corporation 買収・完全子会社化について

2011年3月11日

株式会社タカラトミー
代表取締役社長
富山幹太郎

1. 本買収の背景

2. RC2の概要

3. 本買収による相乗効果

4. 買収の概要と財務インパクト

当社の中期計画及び長期ビジョン達成のために不可欠なステップ

改革

- 中期経営計画では、2009年度から2012年度までを「改革の4年」と位置づけ、新たな成長ステージに向けた改革を実施
- 2009年度には「連結経営の強化」「売上伸長に頼らずとも、利益を生み出せる経営への変革」「海外展開の強化」を経営の最重要課題として取り組み、それら経営課題を強力に推し進め、タカラトミー合併以来となる最高益を達成

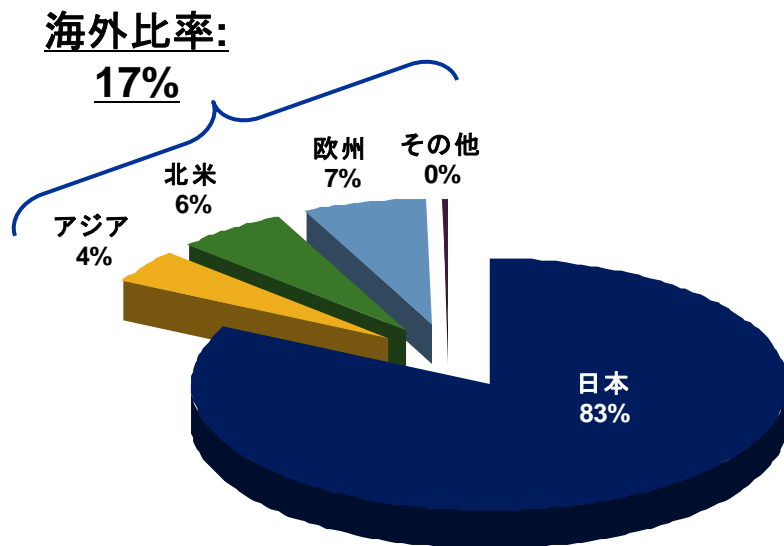
飛躍

- 新たな成長ステージへ向け、RC2の持つ強固なグローバル販売網、幅広いブランド力、広範なグローバル企業プラットフォーム、グローバルな事業展開が可能な実績あるマネジメントの獲得
- これらを背景に、真のグローバル・カンパニーとして世界最大級の玩具会社となる長期ビジョンを実現するための大きな第一歩を刻む

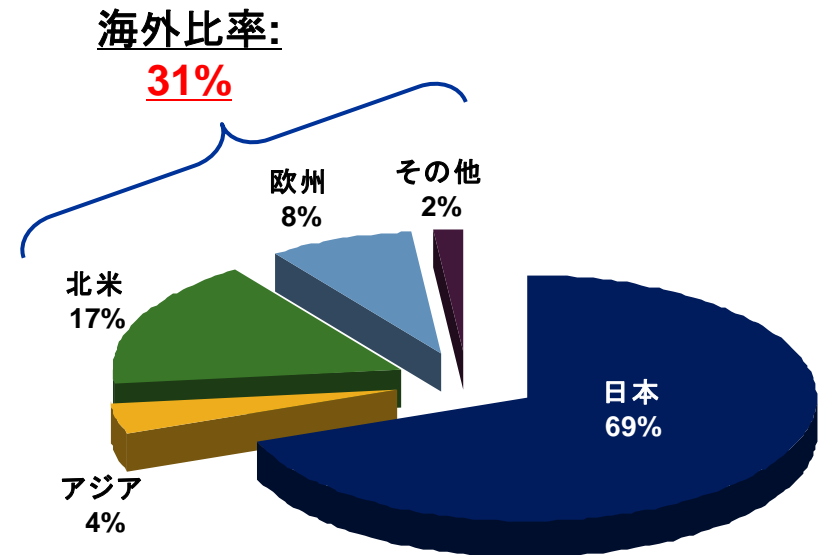
真のグローバル企業へ向けた大きな第一歩

玩具市場で、No. 1の北米、No. 2の日本を中心に、更には欧州、中国、東南アジア、オーストラリア等の多地域展開を実現している企業は唯一当社だけとなり、今後のグローバル展開における大きな強みとなる

当社地域別売上構成

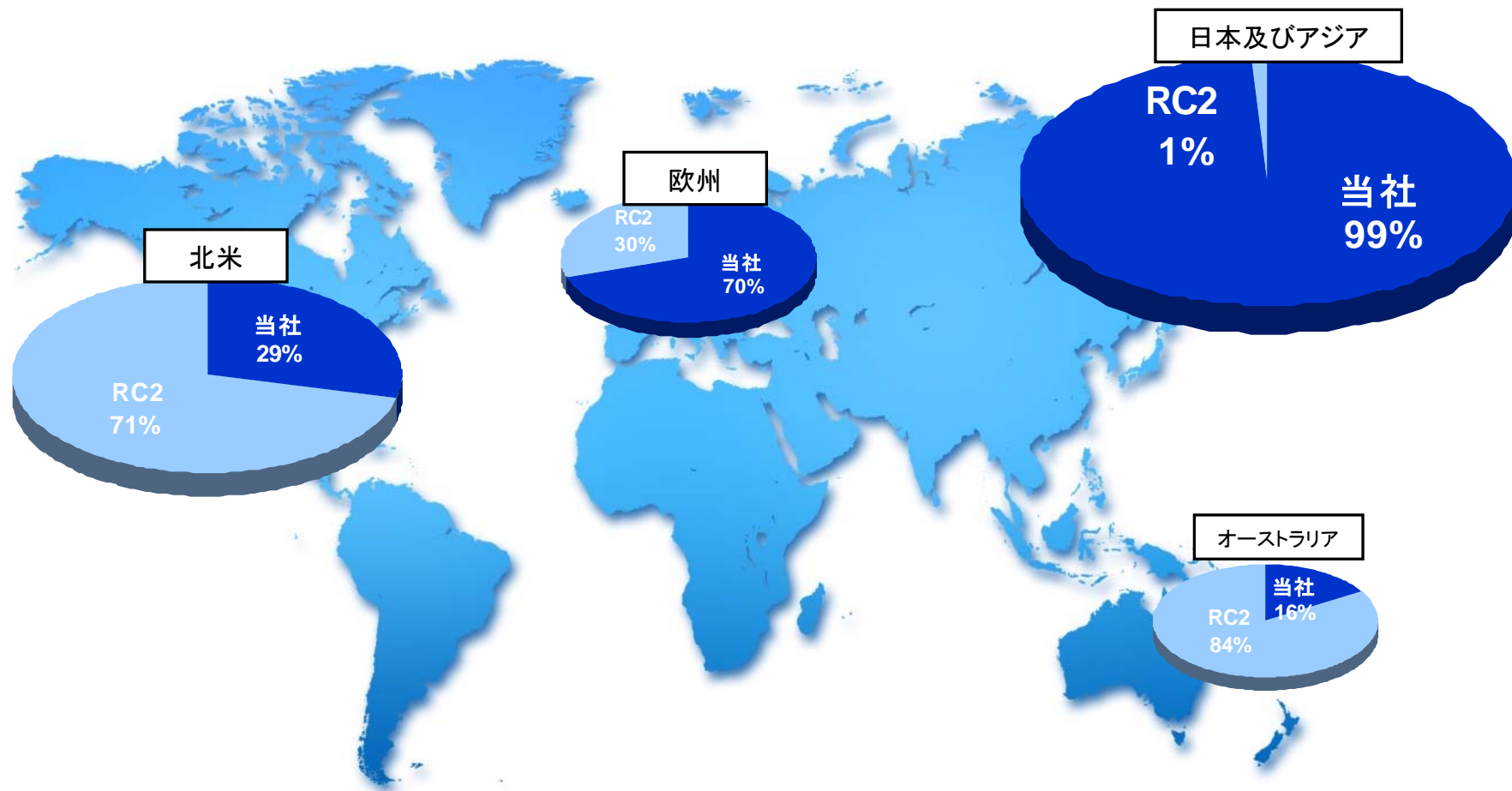


単純合算後の地域別売上



- 注:
- (1) 円換算レートには1ドル = 82円を使用
 - (2) 当社売上高:2010年3月期、RC2売上高:2009年12月期にて算出
 - (3) 上記合算数値はあくまでも単純合算であり、各種連結調整は含まれておりません。

本件買収後の当社グループのインフラ



注:

- (1) 円換算レートには1ドル = 82円を使用
- (2) 上記合算数値はあくまでも単純合算であり、各種連結調整は含まれておりません。

1. 本買収の背景

2. RC2の概要

3. 本買収による相乗効果

4. 買収の概要と財務インパクト

- **会社名:** RC2 Corporation (以下「RC2」)
- **設立:** 1996年
(※RC2の前身であるRCI Group 及びRCL Groupは1989年に設立)
- **本社所在地** 北米、イリノイ州
- **事業内容** 玩具および乳幼児関連商材
- **展開地域** 北米、欧州(イギリス、ドイツ、フランス等)、豪州、香港、中国
- **従業員数** 720名
- **主要ブランド** Learning Curve、The First Years、Lamaze、Chuggington、John Deere、ERTL、Johnny Lightning、Take & Toss

Preschool, Youth & Adult 事業

2010年12月期売上高:231.9百万ドル
(構成比:54.3%)



Thomas & Friends



Chuggington



Dinosaur Train



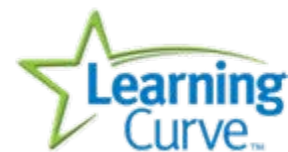
John Deere



Johnny Lightning

Mom, Infant & Toddler 事業

2010年12月期売上高:195.5百万ドル
(構成比:45.7%)



Learning Curve



The First Years



Lamaze Infant Development System



JJ Cole Collections

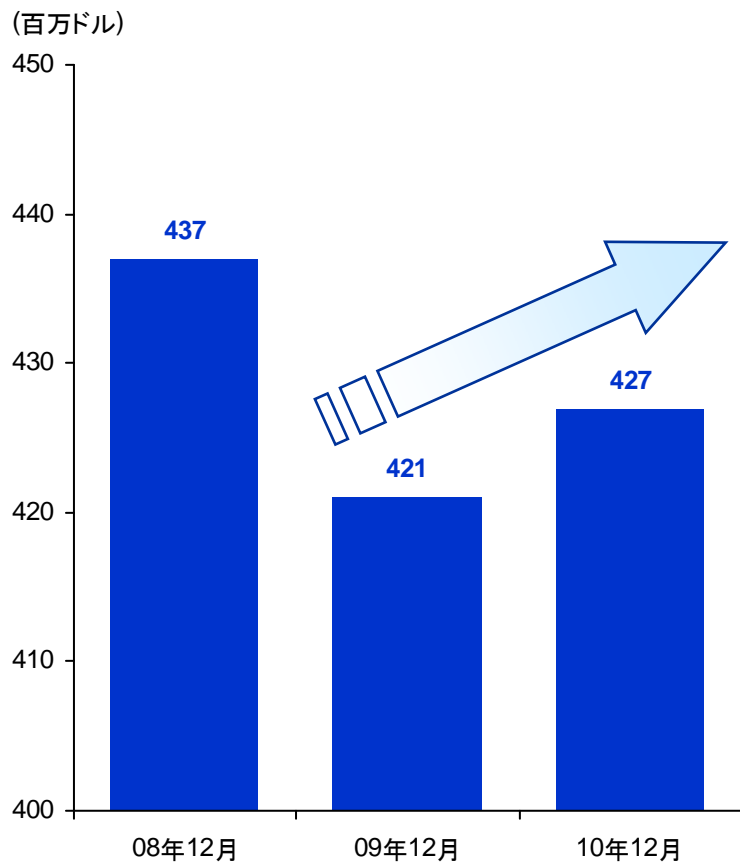
RC2の展開地域



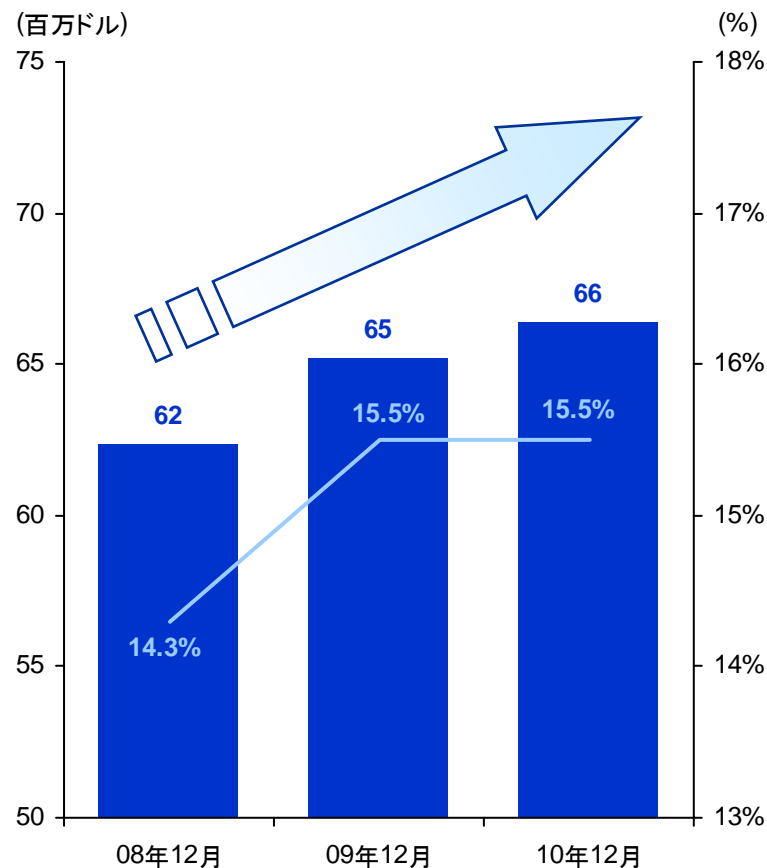
注:
(1) 円換算レートには1ドル = 82円を使用

RC2は過去3カ年に亘り安定的CFを創出

売上高



Adjusted EBITDA⁽¹⁾



*右軸はEBITDAマージン

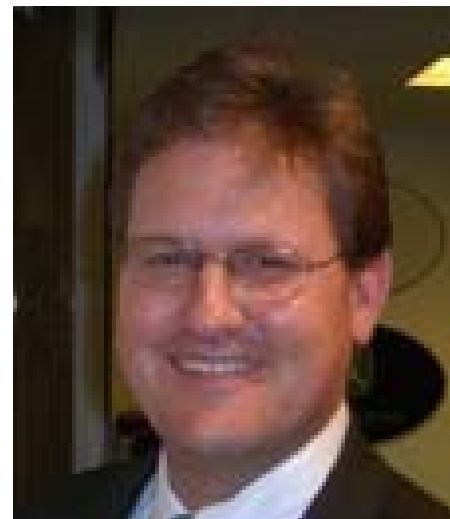
注:
 (1) RC2の10-K記載のAdjusted EBITDAを使用

Curtis W. Stoelting氏 (CEO)



- Curtis W. Stoelting氏は2003年よりCEOに就任
- 2003年以前はFinance and Operations 部門の Executive Vice President 及びCOOとして、同社のFinance and Operationsを牽引
- RC2に入社する1994年以前はアーサーアンダーセンに勤務

Peter Henseler氏 (社長)



- Peter Henseler氏は2002年よりPresidentに就任
- 2002年以前は Sales and Marketing部門の Executive Vice President として同社のSales and Marketingを牽引
- RC2に入社する1996年以前はマクドナルドやハスブロにてマーケティング部門を担当

1. 本買収の背景
2. RC2の概要
- 3. 本買収による相乗効果**
4. 買収の概要と財務インパクト

① 北米市場を中心とした
グローバル市場での販売網獲得

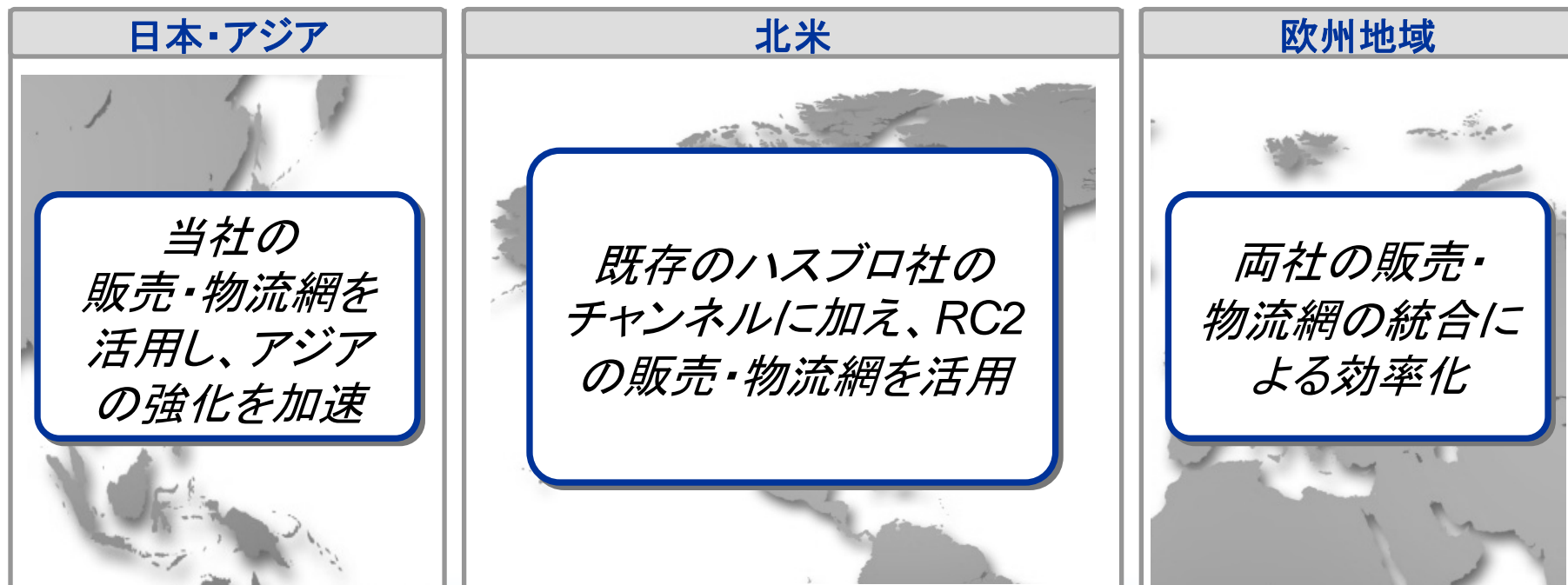
② 両社ブランドのグローバル展開強化

③ 生産・開発体制の強化

④ グローバルな人財・組織体制の獲得

① 北米市場を中心とした グローバル市場での販売網獲得

- グローバルな主要玩具市場における自社販売網を完成させる



両社のBOP⁽¹⁾導入による売上増

注:

(1) 「BOP」は「Best Operation Practices」の略称

② 両社ブランドのグローバル展開強化

- 当社はRC2を買収することにより商品ブランド、特に乳幼児向け製品分野を強化・拡充することが可能
- 当社製品の北米における拡販、RC2の当社基盤を用いたアジアにおける成長、両社が協同することによる欧州地域における事業基盤の確立を目指す

	<u>当社</u>	<u>RC2</u>
ビークル ▶	トミカ・プラレール	<i>Chuggington</i>
ベビー ▶	欧州開発のTOMYブランド	<i>The First Years</i>
ボーイズ ▶	両社開発の新規商品	
ガールズ ▶	リカちゃん + 両社開発の新規商品	

③ 生産・開発体制の強化

- 商品特性に応じた開発・生産体制の使い分け
 - グローバル商品: RC2の開発・生産体制を活用
 - 国内商品: 当社の開発・生産体制を活用
- 商品特性に応じた生産地域・工場の使い分け
 - 中国 vs. タイ vs. ベトナム
- 両社BOPによる生産体制の効率化
- 主要生産地である中国からの輸送の統合、両社オフィス統合による効率化

④ グローバルな人財・組織体制の獲得

玩具事業のグローバル展開において実績のある
マネジメントの獲得

事業のグローバル化に対応した経営・事業管理体制
の刷新と強化

両社人財の相互交流の促進によるグローバル人財の育成

統合効果の早期実現に向けた社内体制の確立

統合推進委員会(ステアリング・コミッティー)

- 統合プロセス全体のモニタリング
- 統合プランの承認
- 統合実務上の意思決定

統合事務局(PMO=プロジェクト・マネージメント・オフィス)

(統合プロジェクトマネージャー)

- 統合プロジェクト進捗管理
- メンバーへの情報フロー
- タスクフォースとの業務調整
- 意思決定事項のステアリング・コミッティーへの相談

事業タスクフォースチーム

経営企画・ 経営戦略チーム	事業拡大チーム	財務・経理管理チーム
生産・開発チーム	マーケティングチーム	欧州担当チーム
システム統合チーム	人事チーム	

積極支援

1. 本買収の背景
2. RC2の概要
3. 本買収による相乗効果
4. 買収の概要と財務インパクト

買収価格

- 一株当たり27.90ドル
 - 過去3ヶ月平均株価に対して約30.9%のプレミアム⁽¹⁾
- 買収金額の総額は約6.4億米ドル

買収スキーム

- 公開買付(TOB)による買収
- 2011年3月下旬に公開買付開始、公開買付終了後、所定の手続きによりRC2の完全子会社化を予定
- RC2の取締役会は本件買収に賛同

買収資金

- 長期借入金:約500億円
- 尚、資金調達方法の選定については、当社の経営状況、財務状況、国際金融市場動向等勘案のうえ、中長期視点での低利安定資金確保が最善と判断
- SMBCを主幹事とする銀行団による円建ておよび米ドル建てシンジケートローン組成の方向で準備中

注:
(1) 2011年3月9日時点

買収後の売上・利益の概況

両社を合わせた単純合算で売上高は2,000億円を超過することとなり、世界最大級の玩具会社となる長期ビジョンの実現へ向け、大きな第一歩となる

(億円)	タカラトミー		RC2 ⁽¹⁾		単純合算 ⁽²⁾	
	2010年3月期		2010年12月期			
	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率
売上高	1,787	-	350	-	2,138	-
営業利益	105	5.9%	37	10.5%	141	6.6%
純利益	90	5.0%	24	7.0%	114	5.3%

注:

(1) 円換算レートには1ドル = 82円を使用

(2) 上記合算数値はあくまでも単純合算であり、各種連結調整は含まれておりません。

損益への影響

- シナジー効果、のれん償却費等の詳細は確定次第公表
- 初期的試算に基づく現時点の想定では、のれん償却後のEPSは各種統合コストを見込む2012年3月期においてもプラスに寄与
- 本件買収効果を織り込んだ新中期経営計画を2012/3期中に策定・公表予定

株主還元

- 当面は従来どおり、安定的な配当を重視
- 本買収による成長の果実を株主様へ還元すべく、シナジー効果の早期発現を図る

本説明資料に記載されている本公開買付けはまだ開始しておらず、本説明資料は何らの証券の買付けの申込ではなく、売却の申込を勧誘するものでもありません。米国証券取引委員会(以下「SEC」)に届け出られるSchedule TO上の公開買付説明書、買付けの申込、その他公開買付けに関する文書には重要な情報が含まれることから、RC2の株主様におかれましては、入手可能となった際には熟読されるようお願いいたします。RC2の株主様は、これらの資料の写しを、入手可能となった以降、無料でSECのウェブサイト<http://www.sec.gov>または当社のウェブサイト<http://www.takaratomy.co.jp/company/release/ir/index.html>から入手することができます。